

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：健康保険課 シートNo：35 作成日：2024/2/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	背景・課題	全国的に人口減少が加速している中、団塊の世代が後期高齢者となっていくことから、被保険者数と医療費の増加が予想されます。今後も高齢者に安定した医療を提供するためには、保険料は重要な財源となっています。	目的・意図
	施策の目標	3誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める			
	施策	3生活の自立支援・社会保障			
	施策内容	後期高齢者医療制度の適切な運営			
	その他、根拠法令 及び分野別計画	高齢者の医療の確保に関する法律			
	事務事業名	後期高齢者医療保険料徴収事務			

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	後期高齢者医療特別会計	
	款	—
	項	—
	目	—
事業		—

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
催告書の送付	納付義務者	1回	1回	178人	178人
電話催告	納付義務者	1回	1回	50人	178人
臨戸訪問	納付義務者	1回	1回	70人	178人

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
滞納繰越分保険料収納率	39.47%	32%
現年度賦課分保険料収納率	99.38%	98.45%

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
滞納繰越分保険料収納率	39.47%	36%
現年度賦課分保険料収納率	99.38%	98%

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐
業務の振り返り						
保険料の督促状及び催告書の発送により、収納率向上に努めることができました。また、今年度は臨戸訪問を実施したことで、滞納繰越分の保険料については昨年度以上の収納額となりました。今後も随時分納相談等を行い、公正・公平に徴収事務を行うよう取り組んでいきます。						現年度分保険料の収納率は良好なものの、滞納繰越分保険料の収納率が低いことが課題となっています。そのため、次年度も臨戸訪問を行い、滞納額が高額にならないよう少額のうちに分納相談を行う機会を増やします。また、低所得者への対策として、未申告者への勧奨を行い、適切に制度運営を行うよう努めていきます。